

肝ぞう通信

第10号 《肝がんの手術療法》

お知らせ

肝疾患医療センターは、肝疾患に関する心配事や悩み事のご相談にお応えしています。当院では、総合相談室が窓口になっております。

場所：病院1階
総合相談室

受付時間：

平日 9:00～15:00
土曜日 9:00～12:00
(第2・4土曜日除く)

豆知識

肝切除は約130年前に欧米ではじめられました。日本でも様々な術式が考案され世界に広まっています。

次回号

テーマ：
肝疾患の日常ケアについて

発行責任者

東海大学医学部附属病院
肝疾患医療センター長
加川 建弘

手術は肝がん四大治療の一つ

手術は穿刺局所療法、肝動脈塞栓療法、薬物療法とならんで肝がんの重要な治療の一つです。手術では、がんを周りの肝ぞうと一緒に取り出します。肝がんは肝ぞうの中に埋まっていますが超音波をソナーの様に使うことによってがんを正確に安全に切除できます。

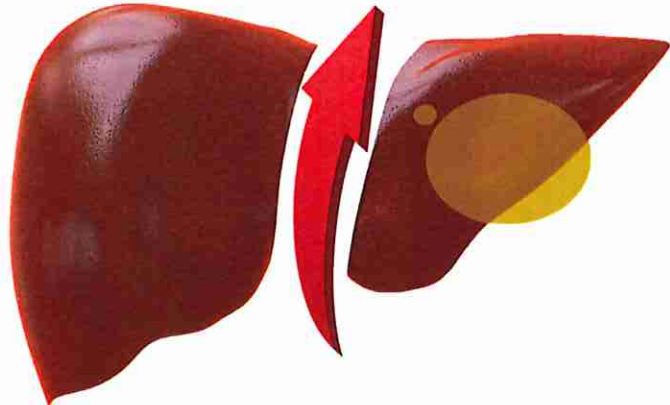
がんの個数が少なく、肝機能が良い患者さんには手術が適しており良い結果が期待できます。

【手術がすすめられる患者さん*】

- ① 肝予備能がChild-Pugh分類AもしくはB
- ② 肝ぞうの外に転移がない
- ③ がんの個数が3個以下

*上の条件に当てはまる場合でも、がんの状況や肝機能によっては他の治療の方が良い場合もあります。

図：肝切除のイメージ



大きなものから小さなものまで様々な術式がありますが、がんを残すことなく、肝機能をなるべく残すように、患者さんごとに最もよい術式を選びます。